

ロタウイルス

☆ロタウイルスによる胃腸炎は、乳幼児期にかかりやすい病気で、感染力が強く、ごくわずかなウイルスが体内に入るだけで感染します。

☆下痢や嘔吐（おうと）、発熱、腹痛などが主な症状で、脱水症状がひどくなると、点滴や入院が必要になることがあります。

☆ロタウイルスワクチンを接種することで、体のなかにロタウイルスへの免疫（抵抗力）ができます。

☆このワクチンは生後6週0日※から接種できます（標準的には生後2か月から接種）。

腸重積症にかかりやすい年齢を避けて、生後14週6日※までに1回目を接種しましょう。（下記「腸重積症とは」を参照）

☆ロタウイルスワクチンは経口生ワクチンです。ワクチンの種類は2種類ありますが、どちらも同じ効果があります。同じワクチンで、決められた回数を接種しましょう。

※生後6週0日…生まれてから6回目の同じ曜日。

生後14週6日…生まれてから15回目の同じ曜日の1日前。

■腸重積症とは

- 腸の一部が隣接する腸管にはまり込む病気です。
- 腸の血流が悪くなることで腸の組織障害を起こすことがあるため、速やかな治療が必要です。
- ワクチンの接種にかかわらず、生後3か月～2歳くらいのお子さんがかかりやすい病気です。
- 次のような様子が一つでも見られるときは、医療機関を受診しましょう。

- 突然はげしく泣く
- 嘔吐を繰り返す
- 便に血が混じる
- ぐったりして顔色が悪い
- 機嫌が良かったり不機嫌になったりを繰り返す

接種後1～2週間は「腸重積症」に注意が必要です。様子が気になったらすぐに受診しましょう。

■予防接種の受け方

いつ受けるの？

接種年齢

□タリックス（1価）：生後6週0日～24週0日

□タテック（5価）：生後6週0日～32週0日

（初回接種の標準的な接種年齢：生後2か月～生後14週6日）

どこで？

福島市登録医療機関に予約してください

持っていくものは？

母子健康手帳、ロタウイルス予防接種予診票、
子ども医療費受給資格者証など

回数と間隔は？

1回目

（標準的な接種年齢：生後2か月～生後14週6日）

↓ 27日以上あける

2回目

□タリックス（1価）：生後24週0日まで（2回で終了）

↓ 27日以上あける

3回目

□タテック（5価）：生後32週0日まで（3回で終了）

※ロタリックス（1価）は2回接種のため予診票が1枚余ります。

■おこるかもしれない体の変化（副反応）

- ロタウイルスワクチンを接種した後、下痢や嘔吐、胃腸炎、発熱などがみられることがあります。
 - 接種後1～2週間は「腸重積症」に注意が必要です。
 - 極めてまれに、アナフィラキシー（急激なアレルギー反応）といった重い症状があらわれることがあります。
- 予防接種を受けた後、気になる症状や体調の変化があらわれたら、すぐに接種した医師に相談してください。